



野球で福島を元気に!  
繋げよう絆・広げよう地域の輪



# エフコムベースボールクラブ

## 第17回JABA毎日新聞社杯社会人選抜野球大会

祝 3連覇

### ◆◆試合結果◆◆

二回戦	VS	郡山ベースボールクラブ	(7対4)
準決勝	VS	大崎トリプルクラウン	(10対2)
決勝	VS	オールいわきクラブ	(23対2)



エフコムBC 中島 周作 監督兼内野手、最高殊勲選手賞の小川 佳斗 投手と首位打者賞の八百板 飛馬 外野手より大会のコメントをいただきました!

### 中島 周作 監督兼内野手

毎日新聞社杯野球大会でも、たくさんご声援頂きありがとうございました。今シーズン最後の大会に優勝も果たしてチームのレベルアップを実感しました。最終戦で、今年1番良い試合する事ができたと感じております。長年チームを支えて頂いた選手、スタッフの引退試合でもありました。最高の形で送りたいという選手の気持ちが表れた結果だと思えます。私自身も、とても感動した大会となりました。今シーズンも、多大な応援とご支援ありがとうございました。大会等だけでなく、仕事を通じていつも選手のサポートを頂き感謝致します。来シーズンは、更に応援して頂けるチームに成長出来る様に選手と共に精進して参ります。今後とも、応援の程宜しくお願い致します。

### 小川 佳斗 投手

1年間激熱な応援ありがとうございました。今年最後の大会を優勝で飾ることが出来たのも皆さんの激熱な応援があったからこそだと思います。エフコム応援団は全国でもトップクラスの応援団だと私は確信しております。来年こそは全国の舞台に皆さんを連れていき日本中の皆さんにエフコム応援団の凄さをお伝えできるように頑張ります。1年間ありがとうございました!!

### 八百板 飛馬 外野手

今シーズンも熱い応援をありがとうございました。まずは支えてくださったスポンサーの方々、球場までお越しいただいたサポーターの方々、エフコムBCに尽力していただいたすべての方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今シーズンは、全国の切符を逃し悔しい思いをしました。あの夏から選手一同、チーム力と各個人のレベルアップに向けて練習に励んできました。最終戦は、理想的な試合となりました。あの負けがあったから成長出来た気がします。まだまだ強くなれるチームです。来年必ず全国に行き日本一になれるよう頑張っていきたいと思えます。サポーターとともにもっともっと高みを目指していければと思えます。改めまして、今シーズン支えてくださったサポーターのみなさま、スポンサー関係者のみなさま、エフコムBCを応援していただいているすべての方々にお礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。



野球で福島を元気に!  
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



# エフコムベースボールクラブ

## 二回戦 VS 郡山ベースボールクラブ

1回表の攻撃、3番島津選手のタイムリーツーベースで先ずは1点を先制。3回表にも渡邊翼選手と松嶋選手に連続スリーベースヒットが飛び出し、相手の守備の乱れにも乗じて2点を追加。4回表には渡邊翼選手のタイムリーヒット、5回表には代打佐藤敬太選手が左中間へのツーベースヒットでチャンスを作りそれぞれ1点を加えた。6回表には伊藤選手のヒットから2点を奪って7点差とした。7イニング制の試合であったが、打撃陣が持ち味を発揮して5イニングで得点を重ねた。

守備では、先発の小川投手が安定感のあるピッチングを披露し4回と2/3を無失点で相手打線を封じた。その後、芳屋投手、佐藤翔投手へスイッチ。6回の途中からは伊藤選手がライトからマウンドに上がり、テンポの良い投球で相手チームを抑える二刀流の活躍を見せ7対4で勝利し準決勝に駒を進めた。

渡邊 翼 選手  
内野手/出身校：聖光学院高校



芳屋 快 選手 <中継ぎ>  
投手/出身校：能代松陽高校 ⇒ 福島大学



佐藤 翔 選手 <中継ぎ>  
投手/出身校：東海大学山形高校 ⇒ 八戸学院大学



伊藤 海斗 選手 <抑え>  
投手・外野手/出身校：酒田南高校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!  
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



# エフコムベースボールクラブ

## 準決勝 V S 大崎トリプルクラウン

1回裏の守備、送球エラーと四球が絡み、無死1、3塁から内野ゴロゲッターの間に1点先取される。直後の2回表は伊藤選手のレフト線ツーベースを起点に、島津選手のタイムリーツーベースなどで3点を奪って逆転に成功。4回表にも渡邊翼選手がレフト前ヒットで出塁、キャッチャーフライでタッチアップを決めて進塁後、再び島津選手がレフト前タイムリーを放ち1点を追加した。

2回以降は先発の佐藤一希選手の粘り強い投球と、高野バッテリーコーチ兼選手の好リードもあり6回まで無失点で抑える。6回表には島津選手のタイムリー、松嶋選手のレフトへのツーランホームラン、代打安藤選手のツーベースに若木選手のライト前タイムリー等の猛攻で計6点を追加して二桁得点とした。最終回には公式戦初登板となる照井選手が1点を献上したものの、落ち着いたピッチングで後続を抑えて10対2で勝利し決勝に進出した。

佐藤 一希 選手 <先発>

投手/出身校：東海大学附属札幌高校 ⇒ 八戸学院大学



島津 翔 選手

内野手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 国士舘大学



松嶋 拓郎 選手

内野手/出身校：文星芸大附属高校 ⇒ 仙台大学



若木 大和 選手

内野手/出身校：鶴岡南高校 ⇒ 山形大学



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!  
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



# エフコムベースボールクラブ

## 決勝 VS オールいわきクラブ

1回裏の攻撃、2死1塁から八百板飛馬選手のライト線ツーベースで1点を先制。更に2回裏と3回裏に5点ずつ追加する攻撃で試合の形勢を掴んだ。先発の小川選手は威力のある直球と切れ味抜群の変化球を駆使し、4回を1点に抑えて完全復活をアピールした。

4回裏には松嶋選手のレフト前タイムリー、伊藤選手の左中間ツーベース、安藤選手のレフトオーバーツーベース、中村選手のレフトオーバーツーベース、若木選手のライト線ツーベースと打者2巡に迫る猛攻を見せて計12点を追加した。また、今季初打席に立った佐藤翔選手も豪快なスイングを見せ球場を沸かせた。

最終回には今シーズンで引退する高橋選手がスタンドからの歓声を受けてマウンドに立った。10年間の集大成となる投球でダブルプレイを奪うなど、相手打線を無難に打ち取って23対2のコールドゲームとなる試合を締めくくった。メンバーそれぞれが練習の成果を今期最終戦で発揮し、本大会3連覇で優勝を飾った。

小川 佳斗 選手 <先発>

投手/出身校：八戸学院光星高校 → 八戸学院大学



八百板 飛馬 選手

外野手/出身校：聖光学院高校



岩崎 凜太郎 選手

内野手/出身校：安達高校 → 東北公益文科大学



高橋 公平 選手 <抑え>

投手/出身校：学法福島高校



ご声援ありがとうございました！

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。